

1 都心まちづくり計画見直しの背景と視点

前「都心まちづくり計画」 (平成 14 年度策定)

都心を取り巻く課題

都市を取り巻く環境変化への対応

- 生産年齢人口減少に伴う経済活力の低下
- 低炭素社会実現の必要性
- 災害に強い都市づくりへの社会的要請

札幌市を取り巻く社会情勢の変化への対応

- 激しさを増す都市間競争への対応
- 広域交通アクセス強化の必要性
- 北海道新幹線の札幌延伸

都心の新たな機運への対応

- 札幌オリンピック (昭和 47 年) を契機に建設されたビル等の更新ピークの到来
- 二つのまちづくり会社による事業展開

新たな上位計画等との整合

- 札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定 (平成 25 年度)
- 都市計画マスタープランの見直し (平成 27 年度)

札幌・都心のポテンシャル

- 世界唯一の積雪寒冷大都市
- 地震等、自然災害の発生リスクの低さ
- 高次の業務機能の集積
- 道都札幌の求心力と交通結節機能
- 札幌の都市成長・発展を支えてきた都市基盤等のレガシー^{※1}など

※1 レガシー：過去の遺産。

北海道・札幌をけん引する都心の役割

- 活力があふれ世界を惹きつける都心
- 道内市町村との連携・協調による北海道経済・産業の活性化をけん引する都心
- 市内主要拠点との連携から、相乗効果を発揮する中核としての都心

新たな都心まちづくり計画に求められる視点

- ◆世界が目を向ける成長戦略の発信
- ◆北海道・札幌の持続可能性を先導する都心の強化
- ◆札幌らしいライフスタイル・ワークスタイルの実現
- ◆まちづくりの実効性を高める連携・協働を提案